

東京スペシャルセッション

公助と連携した自助・共助によって、首都直下地震に備える

開催日時

平成30年10月14日(日) 12:00~13:30

開催場所

東京ビッグサイト会議棟7階 国際会議室

企画趣旨

首都地域は政治・行政・経済中枢・マスメディアといった首都中枢機能が高度に集積し、かつ人口・建築物が密集しています。30年以内に70%の確率で発生するとされている「首都直下地震」により、首都中枢機能の継続性の確保とともに、膨大な人的・物的・経済的被害への対応が未曾有の課題になります。

特に2020年には東京オリンピック・パラリンピックが予定されており、内外の要人・観光客が多数訪問している際に首都直下地震をはじめとする災害が発生した場合への対処方法については、我が国のみならず世界中に影響を及ぼすため、十分に備えておく必要があります。

首都直下地震が量的にも質的にもこれまで我が国で起きた災害とは一線を画する甚大な被害をもたらす可能性を踏まえつつ、産学官・メディア各分野での対応状況や課題を確認し、今後、いか直下地震に備えていくかについて、多様な立場の有識者が議論を行います。

プログラム

12:00 開会

12:10-12:50 各パネリストによる発表

12:50-13:30 Q&A セッション



登壇者

モデレーター: 林 春男 防災科学技術研究所 理事長

パネリスト:

平田 直 東京大学地震研究所地震予知研究センター 教授・センター長

鎌田 長明 公益社団法人日本青年会議所 2018年度副会頭

久保田 啓介 日本経済新聞社 編集委員兼論説委員

田邊 揮司良 東京都危機管理監